

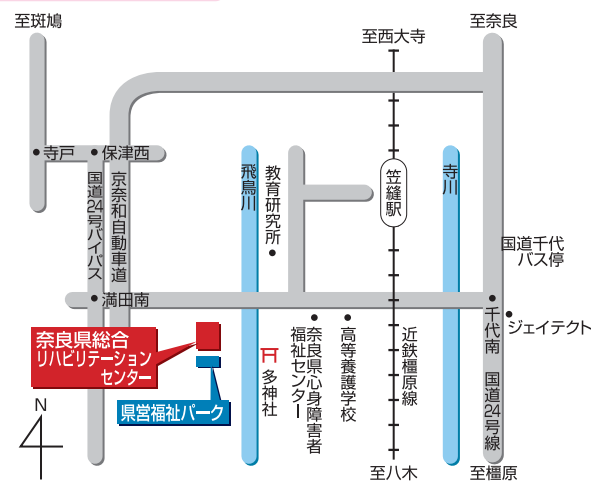
外来診療日程

(平成22年2月1日現在)

		月	火	水	木	金
内科	一般内科診察を行っています。リハビリを要する患者さんの多くは、高血圧・糖尿病・心疾患などの基礎疾患を持つことが多く、特にこれらの診療に力を入れています。	山野		佐々木	佐々木	山野
神経内科	脳卒中、脳挫傷や他の神経疾患の後遺障害に対するリハビリテーションに関して、ご相談をお受けしています。セラピストや医療ソーシャルワーカー等と連携して対応致します。	杉江	森下			杉江
整形外科	骨や関節など運動器の疾患や外傷、脊椎疾患などの治療を行います。脊髄損傷の医学的管理なども行っています。脊髄損傷、運動器疾患のリハビリテーションは、入院治療を原則としています。	北田 (所長)	手術日	中河	林	寺西
		村田	(担当医)	村田	寺西	
整形外科 (小児)	脳性麻痺などによる運動障害を中心に外来で機能訓練や装具療法を行い、長期的に機能回復と社会参加をサポートしています。成人脳性麻痺の患者さんは、整形外科での診察を行っています。	林 (午後) 寺西 (午後)				中河 (午後)
小児科	こどもの様々な発達の問題について、診断をし訓練や療育の相談を行っています。 (脳性麻痺、運動発達の遅れ、知的な遅れ、広汎性発達障害、ADHD、構音障害など)		金廣	金廣 内田 (初診)		金廣
精神科	神経症主体の一般科外来と「落ち着きがない、集中できない、集団行動が出来ない」といったADHDやアスペルガー障害、学習障害などの相談を児童思春期外来でお受けしております。	高橋			高橋	
耳鼻咽喉科		由良 (午前)	覚道 (午後)			
泌尿器科				田中洋		近藤
眼科			小島 (午前)			
放射線科			田岡 (午後)			

受付時間：午前 8時30分～11時30分
午後 1時00分～ 3時00分 (整形外科小児、耳鼻咽喉科〈火曜のみ〉)

交通のご案内



交通機関

- 近鉄笠縫駅……1.3km
徒歩約20分
- 近鉄田原本駅……タクシー
約10分
- 近鉄八木駅……タクシー
約10分
リハビリセンター行バス
約15分
(12/29～1/3は、運休)

奈良県総合リハビリテーションセンター

〒636-0393 奈良県磯城郡田原本町大字多722番地
電話0744(32)0200(代)
FAX0744(32)0208
<http://www2.mahoroba.ne.jp/~narareha/>
(社会福祉法人 奈良県社会福祉事業団)

編集後記

最近ダイエツト目的に、近鉄笠縫駅からセンターまでの約1キロの道のりを歩いて通勤するようになりました。歩いていると二上山の日々変化する色合いや飛鳥川にやってくる鳥の種類など今まで気づかなかった新発見があり、通勤が楽しみになりました。最近運動不足な心あたりのある方、朝のウォーキングを始めてみてはいかがでしょうか。

次号は、来年度より新事業体系に移行が予定されている社会就労センター(セルフ)と自立訓練センターについての記事を掲載する予定です。乞うご期待!!



6月に創刊いたしました奈良県総合リハビリテーションセンターの広報誌「きらり」。少し遅くなりましたが、ようやく第2号発行の運びとなりました。

第2号では、リハビリテーション科より新しいリハビリ機器近日導入予定のお知らせ、センター部門紹介のコーナーでは、心身障害児総合通園センターにスポットをあて施設概要や行事報告等くわしく紹介させていただいております。

これからも奈良県総合リハビリテーションセンターのことをより深く知ってもらえるよう第3号、4号と発行をかさねていきますのでよろしくご期待いたします。

リハビリテーション科より 「新しいリハビリ機器導入予定のお知らせ」

この度、リハビリテーションセンターに体重免荷トレッドミル歩行トレーニング(Body weight support treadmill training: BWSTT)用の体重免荷装置(アンウェイシステム:BIODEX製)が導入されることになりました。BWSTTは、免荷装置で体を持ち上げて足にかかる体重を調節し、トレッドミル上で行う歩行トレーニングを意味します。BWSTTは、脊髄損傷や脳卒中、パーキンソン病、整形外科疾患等、様々な方を対象として実施され始めています。効果としては、トレーニング後に歩行時に必要な下肢筋(足の筋肉)の活動するパターンが調整され、協調的な足の運動が出現してくることが報告されています。これは、歩行に必要な新たな神経回路の発現や反射の調整、神経と筋肉のつながりの変化によるものと考えられています。無作為化比較試験(医学分野の臨床試験で用いられる一般的な効果証明方法)も実施されており、脊髄損傷、脳卒中、パーキンソン病、整形外科疾患での有効性が報告されています。また、BWSTTは、免荷装置によって足の支える力が十分でない患者さんでも、転倒リスクを軽減し、より安全な状態で歩行トレーニングを行うことができます。また、従来では対応できなかった重症度の高い患者様や体重過多な患者様への対応が拡大すると考えています。



部門紹介 その①

総合通園センター

施設概要

名称 心身障害児総合通園センター わかくさ愛育園
 設置 奈良県
 経営 社会福祉法人 奈良県社会福祉事業団
 開設日 昭和63年6月13日
 事業の種類
 肢体不自由児通園施設 利用定員40名
 知的障害児通園施設 利用定員30名
 難聴幼児通園施設 利用定員30名
 重症心身障害児(者)通園事業 A型 利用定員15名



個々の子どもに必要な医療的ケア・機能訓練・心理学的援助・保育活動・福祉的支援などを総合的に提供し、家庭生活を基盤としながら、子どもの発達や成長の支援を行っています。就学までのお子様を対象とし、一人ひとりの発達の状況に応じた療育内容を検討しています。

重症心身障害児(者)通園事業は、在宅の重症心身障害児(者)を対象として、通園により医療的ケア・訓練・療育活動をしながらか成長・発達の支援を行うことを目的に平成15年1月より実施しています。

肢体不自由児通園施設(ちゅうりっぷ組)

運動機能に障害や遅れを持っている就学までの子どもたちが、療育を受けている場です。肢体不自由児通園と
 いいながら、重症心身障害児や未歩行の広汎性発達障害児で運動機能訓練が適用になる児も通っています。

知的障害児通園施設(すみれ組)

独歩可能な3歳児以上で知的障害のある児童や発達に弱さを持ち、療育を必要とする子どもたちが通っています。対人関係に弱さをあわせ持つ子どもたちもいます。

難聴幼児通園施設(ひまわり組)

独歩可能な、就学までの聴覚障害児と1,2歳児の発達に弱さや遅れのある子どもたちが通っています。対人関係に弱さを持つ子どもたちもいます。

重症心身障害児(者)通園事業(さくら組)

在宅で生活を送る重症心身障害者(在学中の者を除く)を対象とし、日中活動の援助を行う施設です。わかさ愛育園では、利用者を就学前児(さくらKIDS)と18才以上の方(さくらYOUTH)の二つのクラスに分け、それぞれに合ったメニューで日中活動の援助を行っています。

時間	ちゅうりっぷ	すみれ・ひまわり	さくらキッズ	さくらユース
	登園	登園		
10:00	登園 体操 朝の会 水分補給 設定保育	朝の会 体操 水分補給 設定保育	登園 体調チェック 水分補給 体操 朝の会 設定保育	登園 体調チェック 水分補給 朝の会 ストレッチ
12:00	昼食	昼食	昼食	昼食
13:00	帰りの会 (休憩)	帰りの会 (休憩)	午睡	休息 活動
13:50	昼の会 設定保育 おやつ	昼の会 設定保育 おやつ		
15:00	帰りの会 降園	帰りの会 降園	おやつ 帰りの会 降園	帰りの会 降園

～行事報告～ 通園部門では、一年を通して次のような行事をおこなっています!!

芋掘り

桜井市山田の上田農園さんのご厚意で毎年芋掘りをさせていただいて、今年で10数年、みんなが楽しみにしている行事です。今年も掘り出した芋に歓声があがりました。収穫した芋は、おやきや芋パンケーキに変身しました。



遠足

大型バスに乗って、10月9日(金)に、大阪府立大型児童館「ビックバン」へ遠足に行きました。「アストロキャンプ」や「おもちゃスペースシップ」で遊び、お弁当を食べて大満足で帰ってきました。



運動会

秋の行事の一つとして、ミニ運動会・レクリエーションが行われました。園児は、かけっこやおゆうぎを披露したくさんの拍手をもらいました。家族が参加するレクリエーションでは、家族同士の交流も深められました。笑顔いっぱいの日となりました。



ユースフェスティバル

10月23日、毎年恒例のユースフェスティバルが盛大に行われました。今年のテーマはすばりディズニーリゾート。ゲストに警察音楽隊を招きすばらしい演奏にみんな酔いしれました。また、防犯や交通事故に関するお話も非常に興味深く聞かさせていただきました。そのあとに行われたゲーム大会では利用者みなさんがピーターパンになり普通の活動の成果を十分に発揮され見事に海賊を退治されました。

